





倭論語

序

史以齊家治國之要莫過乎此書以孝鳴者  
顏魯也以德鳴者孔孟也以半部鳴者宋趙普  
也况於學者不可不時習嗚呼一寸璧玉也漢  
家不朝貴之既乏可謂龜鏡鴻宝而已作以  
書者

後鳥羽院御宇穀倉院別當清原良業蒙  
勅詔用倭字至神託及聖帝金言公武忠  
言貴女至言并叙子芳玄其以記錄之





上皇歡悅時此書是本朝論語也被仰者以  
人皆曰倭論語不得止為頭号乎後出史官不  
忽之以達人銘言可加書者也

代之撰者次第

兼久元年正月十八日

穀倉院別當清原良業

在判

建長四年八月十五日

大外記清原朝臣賴尚

在判

弘安十年三月廿一日

穀倉院別當清原良季

在判

元德二年九月十九日

穀倉院別當云四位下清良校

在判



同御宇勅弁

代侍讀清原朝臣宗尚

在判

文和四年十月廿三日

主承清原朝臣良兼

在判

應永二年三月十五日

大膳大夫大外記清原宗季

在判

應永廿五年六月廿日

少納言大外記清原良賢

在判

文安三年八月朔日

少納言大外記清原賴季

在判

寬正六年十月十九日

大外記清原朝臣宗業

在判

長亨二年七月廿九日

大外記清原朝臣良宣

在判

永正三年四月十三日

皇位行宮内郷清原宗賢

在判

天文十三年五月三日

從五位下大外記枝賢

在判

同御宇勅弁

少納言清原朝臣宣賢

在判



永祿十二年十一月廿二日

細川兵部大補源藤孝

在判

寬永五年八月十五日

從四位上右中將源重秀

在判

洛東山隱士長嘯子

在判

倭論語卷第一目錄

神部

天照皇太神宮

伊勢國

卷田正八幡宮

山城國

賀茂皇太神宮

山城國

春日大明神

大和國

高良大明神

山城國

日吉山王太權現

近江國

高皇產靈命

大和國

少彥名命

山城國

住吉大明神

攝津國

松尾大明神

山城國

平野大明神

山城國

小野天神

山城國

梅宮大明神

山城國

愛宕山大權現

山城國

富士山大權現

駿河國



湯殿山大權現

出羽國

康嶋大明神

常陸國

白山大權現

加賀國

竹生嶋大明神

近江國

斐田大明神

尾張國

諏訪大明神

信濃國

多賀大明神

近江國

龍田大明神

大和國

三嶋大明神

倭豆國

熊野大權現

紀伊國

比良大明神

近江國

金峯山大權現

大和國

一言主大明神

大和國

平置大明神

河內國

大鳥大明神

和泉國

清水寺地主權現

山城國

稻荷大明神

山城國

廣田大明神

播磨國

新羅大明神

近江國

三上大明神

近江國

佐々貴大明神

近江國

菟濃大明神

美濃國

南宮大明神

美濃國

水武大明神

飛騨國

戸隱大明神

信濃國

拔鋒大明神

上野國

日光滿願大明神

下野國

塩釜大明神

陸奥國

浮嶋大明神

陸奥國

鳥海大明神

本羽國

日置大明神

倭賀國

多渡大明神

倭勢國

志摩大明神

志摩國

斐田大明神

尾張國

狹投大明神

三川國

角避比古大明神

遠江國

淡間大明神

駿河國

三嶋大明神

伊豆國

山梨大明神

甲斐國

寒川大明神

相模國



安房大明神

安房國

玉前大明神

上総國

香取大明神

下総國

中山金山彦大明神

美濃國

大津大明神

飛騨國

伊加保大明神

上野國

二荒山大明神

下野國

伊達大明神

陸奥國

大物忌大明神

出羽國

若狹彦大明神

若狹國

氣比大明神

越前國

白山比咩大明神

加賀國

能比咩大明神

能登國

建石勝大明神

越中國

桐原石部大明神

越後國

大幡大明神

佐渡國

出雲大明神

丹波國

龍大明神

丹後國

粟原大明神

但馬國

八幡宮

但馬國

宇倍大明神

因幡國

倭文大明神

伯耆國

杵築大社

石見國

物部大明神

石見國

正八幡宮

紀伊國

由良姫大明神

隱岐國

海神大明神

播磨國

中山大明神

美作國

安仁大明神

備前國

吉備津大明神

備中國

天別豐姫大明神

備後國

伊都伎鴻大明神

安藝國

山王大神

近江國

熊毛大明神

周防國

佳吉皇荒御魂大明神

長門國

日前大明神

紀伊國

大和國魂大明神

淡路國

忌部大明神

石見國

城山大明神

讃岐國

大山積大明神

伴子國



初佐大明神

去佐國

築紫大明神

筑前國

豐姫大明神

筑後國

宇佐八幡宮

豊前國

西宮大明神

豊後國

田嶋大明神

肥前國

阿蘇大明神

肥後國

江田大明神

日向國

廉兒嶋大明神

大隅國

牧野大明神

大隅國

倭姫命

兵主大明神

豊後國

和多教美大明神

對馬國

大織冠震文

赤山大明神

山城國  
北良下

氷川大明神

武蔵國  
寒川下

國々神社志芽不同有口傳不可改後代々々

後素良乃みくしの所斬十三乃江時道段み

作しハ此書をよみくむ我々の理候わら

まへん感情するものありづー又此中の銘

云々ゆのちかふかふととわてがうらふ

をれまづー又てに雖破するもの百人乃

中十二三とある

又勅曰世々の史友此書を漢字に半つて倭  
字とらちらちら半。先王乃とまきく。且又吾日  
の印乃至言されむなり



倭論語卷第一

神明部

天照皇太神文宝勅

伊勢國

吾もろくく乃。あをむやうさ。いひをりほりて  
 ぬえいすしと。おふと。あ。は。あ。ん。乃。み。を  
 けり。わ。と。う。け。く。根。の。お。お。と。む。ん。た。一。さ  
 四。我。も。ら。て。も。さ。し。あ。と。も。か。あ。ら。ば。天。乃  
 祚。乃。め。ら。え。あ。ん  
 ち。ろ。く。れ。り。む。あ。あ。ふ。さ。う。時。ハ。た。ま。は。れ  
 ら。ふ。い。り。せ。の。さ。し。ま。し。ま。そ。の。い。ん。ら。れ











元久元年八月十八日夜。沙々貴信經のまの  
給。神奇に

慈照仏すまの神もまゝ人おき。回をたにまけり  
賀茂皇太神宮神鏡 山城國

一あひわがまつよまそし一札をたかまのハサのまの  
よまそぐひく神力をくらくサのいとまきん  
まうして日成かさねたのまじ人ふよひくおや  
春日大明神の鏡 大和國

たふをまそまろくろ人ばひよ清三室をくま  
國土乃珍物を供一七重乃志見をそり教百

目をまろくろくめてあをいろくせもその心非り  
おんどんすん家入ひくろまろ。たふく重  
のあふまも慈照のあけんその室  
まねくまといふとも。ひく。辰龍向あふ。我  
は絲小慈照と神轉とすまおなり  
まろくこれんら神明乃ますも張うけん  
くは絲に悟心をまろけよ。たふく一毛の揚  
心乃神明とすま。大雲乃ま  
まろくろ人よ。善神ハ味をまそちらま  
すまおまよ。まろ川のくま。ま物の供物とこ











神におんこをられあふあふんよりくぐし  
まろ人よみまををまつあそのあうまをこを  
らのまをまをにまをよんりごあり神明と  
うらんそまろ人れあのみらりつ先ハ神明乃清  
まをりあうまをいりいなり  
まろ人よ國とおん先あがしこのあうあうん  
事とあうまをまのま乃草創あまハわがままよ  
うく神明をうけつがハあうまのまの

少彦名命山城國五條天神近江國佐之貴大  
社但馬國佐之伎宮是也

住吉大明神之託

揚津國

りま四乃あうまのまのとま川先まへ天夢に  
凶徒と誅しびりまわま大將軍をり日者ハ嗣  
お軍あり策平に遂後と志けびり時ハ日者大  
お軍をり我ハ嗣お軍あり日者ハやうま  
にハ一系乃法味にあうまゆま神明ままます  
まをりあ

松尾大明神之託

山城國

まろ人れ一神ハ一礼をりあもまを乃たすま  
ありまをりくまをりまをり一會正座のまをり



いんごのや

平野大明神の神の院

山城國

をろくろ人ねんこすくもようれは神明えさの  
ふらりておひくく人のまうなりさる  
たのぬとく水乃清き天月そらづきなるあかり  
北野天神きたの神の院

山城國

ちろ人ねりかまへにまへねがをまきんね  
なぶろおころいんりまへ内外うちそと清くして  
かみにひふかしくしていろく。ふほあ  
たうねつて成りけんものわきをたうまんり。

一七のちらふきか福がひんふゆのぬくちうすば

梅文大明神うめぶん神の院

山城國

よの人乃ほごあてあまのまへに  
時その母らあかへんねあまのほにわがま  
屋ふあろ一乃沙なすをまきあまのあまの  
とくかろく。是わがまする処ところなり

志岩山大権現神しかん院

山城國

志生しかほひあまのちをけい。どのま一人の  
とんをく。天あまよさる地ちをくじん



りまつねふち乱神とほろろ。きのお浄と下ら  
ほろがらん上ハ極つふ下ろ。まん時ハ大  
乃西代屋全にあら。上賊とらしてらる。  
おまのよわらん  
吾言にま法とちり。あま乃安全とちるがけ。  
邪んめそのあをわらうが。んころとあ申  
なうま。天とみろろ。我を人乃あわらわら  
く  
富士大権現神鏡  
駿河國  
おまはのよ。姫事とあの一じ極よ。その智

徳乃水うつろし。神徳の月乃ひらちのきをうり

湯殿山権現神託

出羽國

一切乃おま世のこまわらとすや。向は月をわら  
ねく。おまとこまけんを信く。我ま人にあ  
く。現世に浄まおま。せとま。わらわら。い。や  
んのおま。わら。あ。とい。事。あ。我。目。か。に。え。れ  
何く。大日遍昭乃。産に。じ。く。ん。が。た。あ。か。ま。の。浄  
不。浄。の。あ。が。ま。と。ま。く。肉。の。大。娘。の。目。の。い。ま。を  
か。や。あ。の。の。なり



康鴻大明神託

常陸國

わきけのひよびあゝ尔乃申津必の宿生と然ぐ  
 その神乃みまことのりとりけ異初乃函徒とまり  
 け天魔比魔乃碎らまをらぐぐ此國のまの二  
 人もつが神使とあゝすまをらぐあゝ神明よは  
 入まらるものあゝあゝあゝあゝ我らゝ成えく  
 魔軍目の下乃雷乃ごゝゝ消失ね國に神の  
 ふうのゆるものすゝなるゝ時乃あゝらゝらゝら  
 へゝ毎度ふらをらゝゝじ魔力ハやゝもすれハ  
 けゝ神カやゝもすれハゝゝは唯まゝの

人乃ん或時ハ月氏國乃をへゝうつり或時ハ  
 天のまふゝゝゝゝ神乃をりあまのなりこが  
 ぬに我はぬゝゝゝゝのゝゝゝゝわゝ神乃  
 の顔色乃ゝは月ゝゝゝゝ一向にやゝすゝま  
 ふらゝゝゝゝ乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 白山大権現神託

加賀國

乃づゝ乃人のゝゝゝゝゝゝゝゝの乃りははあ  
 神明をみまあゝゝゝ。由まゝゝゝゝゝゝゝゝ  
 是ハ神明をその身にあゝゝゝゝあゝゝゝゝゝ  
 乃の我ふゝゝゝゝゝゝ



作生嶋大明神ノ託

近江國

我はゆかに位ある所ありあり。世のんをうひよ東  
 南より一ねらうらうらよ身とく。世のう  
 らよ身とく。世のこゑとあえにけが音  
 とわく。世。一切のきうとわく。人。んり。世。の  
 に世賊とわく。神。仏。乃。且。越。と。あ。あ。大。慈。悲。の。の。あ  
 お。神。の。人。を。あ。と。り。ぞ。も。あ。を。あ。乃。め。た。世。賊。と  
 あ。と。く。ぞ。の。神。の。ん。と。く。可。法。に。引。入。り。じ  
 せ。し。て。あ。く。し。さ。人。よ。と。あ。く。あ。や

變回大明神ノ託

尾張國

あ。の。う。し。の。も。う。く。人。よ。は。け。の。の。神。明。の。尊。さ。い  
 み。と。と。乃。に。ら。け。く。あ。を。浅。父。と。く。地。を。母。と  
 一。万。物。を。見。束。と。して。う。み。あ。く。う。う。一。か。ん  
 な。く。此。神。國。乃。三。東。に。ま。さ。れ。く。と。き。あ。れ。ん  
 天。照。神。乃。を。く。人。に。ま。さ。り。て。す。く。み。こ。の。尊。さ  
 や。ま。の。い。の。勢。を。し。く。く。あ。く。の。家。神。あ。に。ま。さ。り  
 世。の。名。姓。あ。を。よ。う。あ。く。の。款。と。く。さ。さ。り。ん  
 乃。の。う。な。り。ん  
 祈。禱。大。明。神。ノ。託  
 信。乃。國











かならぬまゝにあり。神明を清く正すらんといふ  
 ことよ。月をまう。時とふらして身に行はば  
 一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ  
 かならぬまゝにあり。神明を清く正すらんといふ  
 ことよ。月をまう。時とふらして身に行はば  
 一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ

金峯山大権現社  
 大和國

一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ  
 かならぬまゝにあり。神明を清く正すらんといふ  
 ことよ。月をまう。時とふらして身に行はば  
 一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ

一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ  
 かならぬまゝにあり。神明を清く正すらんといふ  
 ことよ。月をまう。時とふらして身に行はば  
 一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ

一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ  
 かならぬまゝにあり。神明を清く正すらんといふ  
 ことよ。月をまう。時とふらして身に行はば  
 一。神を清くされ。あつれをうらまへしなり。ま  
 じかならば。清くし。いれ。あつれ。あつれ。あつれ

平皇大明神と託

何内國







あまのついでの人のみをたづねて  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて  
ついであり人たふす  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて

新羅大明神の祀

近江

あまのついでの人をたづねて  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて  
ついであり人たふす  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて

三上大明神の祀

丹國

あまのついでの人をたづねて  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて  
ついであり人たふす  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて

佐貴所大社神託

近江國

あまのついでの人をたづねて  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて  
ついであり人たふす  
とらふくはよきことなむとて  
神乃みあはれりて







あしくあはれをあしめしむる世の心をすまはら  
神乃心をしめあり

戸隠大明神託

信乃國

まろくく乃人れ有乃後にしるるがくか  
中あく。清く清く心をそて吾神明のあえ  
とままぐみ乃比わを拂えあしてすまはら  
あしと申とあるやあしと申いと申して  
わえはらと申とせよ

拔鋒大明神託

上野國

あままはらみここのゆくとせんとせんと  
あままはらみここのゆくとせんとせんと

くまのとしとせよとせよとせよとせよと  
かろけつ物につまみ水とらわらるよつと  
くろけつと智恵乃大くそえけくがまを  
あままはらみここのゆくとせんとせんと

日光漢頭明神託

上野國

まろ人乃祈あれた神はらうとせよとせよと  
その心のあしとせよとせよとせよと  
く恨むとせよとせよとせよとせよと  
まろ乃水とせよとせよとせよとせよと  
あままはらみここのゆくとせんとせんと







まれのほひにんづらにうらうらとゆふを人欲  
とらふ。あざうらうらつらつとあはれんうらを  
ほし。いぢうらうらて人欲の歎けい。あめふれし  
中神乃味方うらうらて。なづく根のあまら  
おらにらさ

日垂大明神と託

伊賀國

なづく乃命生みさうやを垂くせよ。神のい  
んとついでと細くねるありぞのわらうら  
欲とさうとさうとさうとあつとさうとさうと  
明恵上人の解脱上人と。春日大明神の才一

才一の才子なわらとほねま。禱歎一。行ひ  
或何明神此二人に御對面する。明恵  
い垂よあひなまを。解脱は翠簷と隔て  
あひほひね。明恵上人。あまにゆひのり  
何とて解脱を。あまの知法。色をさく。まかり  
揚まり。に垂にあひ結つあや。明神作  
ハ我小隔つるを。唯解脱が。揚公。あを隔  
つるあつと。何とさけ。あまの。解脱房。西垂を  
ん。乃と道よ。く。どの。まが。智。魁と。拂ひす



多渡大明神託

伴勢國

吾國の人れを遊あれハがまきし遊なりぞのん  
ま、神ハ亦又まきしりかを神外ハけなり  
のまもろにらておんハ神のよーとま

海

志摩大明神託

志摩國

海歩くくや春よこまきとちりくそのんを  
大元ハる勢をなまきハありつらに安よん  
のまのなり

斐田大明神託

尾法國

蓋ノよ七乃難を外よりハあらばあきすよ  
うー海と好むの取ハあり七乃梅々又外よりそ  
あきあき乃海と好むの取ハありそのののみさ  
日成遊ありくあまきく神乃とーとま  
とー人のふりとーくを潤色とーハ日月と  
光をあるーとー四方の國とあるーとー

狭投大明神託

三川國

そん人よ一乃昔いとくまきあーつあるを  
り一申がすれぞのあひや年一に庵んまんで  
却るとのまきに入なりよるみりハけりとー



世乃神のひちをにみりて昔か又とのまよ入  
なり。て成るのてよりいなりあつるまよいと  
りてくまふるべし

角避元古大明神と託

遠江國

なりての人はされわが國の神道理にま  
かしておあふす。うらうらをまふり佛と  
せんぬいふにまうしす。あはれりてまふ

うらうら神の法をわづ

浅間大明神と託

後河國

わづらふまふし。ふまけまはるく神の位は

乃りりかありわづらふまふにわされば人  
なり。人心もされはらひいとなるぞ人と  
かくあらんぞ。まふていふまふまはは  
なげくうら

三浦大明神と託

伊豆國

益人よあまふまふい地ようまふと  
まりてあまてる神なりてまふと  
人のあまふまふとまふくわらんと  
わらんとまふまふにあまふまふ  
るにうらやすまふまふにうらまふ



とわらふまゝとわらふまゝのみを不城なく委  
する中ふりま

山梨大明神と祀

甲斐國

みふ人乃すうしうしうしう中とと人乃作こ  
しあふまはあはの神らと付くまの  
うむ乃すうしうあはらねまうしうしうし  
る中と人乃あはまはあはまはあはまはあ  
心乃あはらうしうあはまはあはまはあはま  
人乃あはらうしうあはまはあはまはあはま  
まはあ

氷川大明神と祀

相模國

益人乃可しうあはまはあはまはあはまはあ  
こころあにかあはまはあはまはあはまはあ  
て物乃あはまはあはまはあはまはあはまはあ  
せうしうしうしうしうしうしうしうしうし

氷川大明神と祀

武蔵國

と人乃あはまはあはまはあはまはあはまはあ  
に付くまのあはまはあはまはあはまはあはまはあ  
あはまはあはまはあはまはあはまはあはまはあ  
その一よそ二よあはまはあはまはあはまはあ







大津大明神の託

飛騨國

三つ小法師の命を吾ははは女とて  
らあれがなづく乃まごんよせむありて清く  
清く

伴保大明神の託

上野國

わがまら専さんを入のふれあううなる徳  
とまげなげととり蓋人よ可く専さん  
成るううくもまごんよせむありて清く

二荒山大明神の託

下野國

わが人乃専さんとたのまごんにそのゆれあう

とくううむらまごんがうるう一極一礼むる  
かみにみまごんとくくああ事なりまご  
時なるうう

伴達大明神の託

陸奥國

りる人乃あううまごんうにかけある  
あううわて物をけうにわん何う  
いあう物あうまごん物いよまごのまご  
まごんまごんあうまごんあううに蓋  
がわまごんあうまごんあうあう

大物忌大明神の託

お羽國







三書乃中一、揚きこる所なりがらぶ人  
 にいらくく神明のらく清く人々れみ  
 まこと成さる事ありあはる事とて根  
 のふふりるよつる事なりれ  
 独也此咩大明神託 越中  
 此神あり清和みよけい先神よみ  
 ことそまらあけつとなん併記よみづら  
 略終のりとなり

建石勝大明神託

越中

ところ人乃我神國とりまはるがそつらのゆ  
 めも成りさる人あがとまらるるるるる  
 乃きまらるるるるるるるるるるるるるる  
 月に日よあり時より町ふ海らひわらる  
 一さげが神明乃直さるるのあにあり  
 更にあ

相原石部大明神託

越中

わき成たりまらん益人あひりまらるる  
 といんよらあはるるるるるるるるるる  
 そのあをそとつらりけりまらるるる







かぬく。天乃神の垂きこらまもとのづくならん  
一。慈悲れ海初るけま。天月ヶけをうつり  
宇倍大明神託 周播國

もろ人乃心を神へみあ〜りまれば垂きこら神  
なり。慈悲乃んかければ良佛なり。神仏一の  
身とおもえ〜しく

倭文大明神託 佐者國

もろ人乃世の人乃たまけりあ〜ん事とつひ  
ねづいも〜はあびも〜あ〜んものたまれ  
はひに神かともげま〜く日乃平のめんた

〜とま〜ん〜に世の人た國乃産とひい  
や〜んを〜い〜は家〜と〜て〜むけて  
う〜〜か〜ん

杵築大社神託 出雲國

益人かわ神へおま〜を〜てか〜に心  
川〜か神のあ〜ふれば我眷属の神  
つ〜の玉の流と〜ん〜んもろの  
神をま〜んよ。家とま〜にせぬ生  
神がひのをもとげ〜や〜

物部大明神託 石見國



もろく人れんこくもろく人れん  
けをらりてつひにせん

正八幡宮神託

紀伊國

もろく人らがあをねよふ公身とあふ公みかくぬ  
うきつとあわあうーとあ縁をとあれあめぞこ  
さ事ふこそ神明もあふのあやとりあんも  
あく乃法の申よん。座禱の座をせ殊持あ  
れ我つひよ。福を乃座のあわとあうらと

由良坂大明神託

隠岐國

もろく人よ。二六時中一息乃あは神明のああ

おあふー。かたれたらあ乃外よもろくもあ世男  
みあ夫てらあのあといあるあ人なり。はあれ  
くそ益人か自他乃ああいよあ。方乃らーと  
ああらにそ

海神大明神託

播磨國

あえらうそ。雲乃あよみとあうーとあ夫よ  
あう。あ一切あ生とあ守くあ至とあれあのああ  
して。三東乃神祇佛位とあ禱引して。あ統法  
あ。あ且あうくあ孔老回乃三聖とあああ  
今日乃ああああああああ。あは我神明の物



小徳。申。は。ぬ。ま。つ。く。一。つ。と。一。つ。と。志。先。と。  
海。乃。外。あ。こ。も。や。な。成。さ。り。に。お。も。し。あ。申。ふ。

中山大明神託

善作國

そ。の。人。は。名。利。と。や。め。く。肉。心。清。く。清。く。時。を。  
ろ。く。乃。志。い。と。お。い。ひ。福。が。む。や。ぬ。い。ひ。皆。海。  
良。一。つ。て。公。の。も。の。な。す。く。次。と。云。申。あ。

安仁大明神託

備前國

益。人。が。虫。と。云。の。酒。成。ま。せ。い。世。の。酒。あ。先。つ。ら。と。  
う。と。う。一。神。明。と。女。と。す。う。も。の。な。り。う。と。う。と。後。

今。そ。お。お。ふ。う。一。里。根。の。み。よ。入。海。へ。

右備津彦大明神託

田中五

天。と。る。神。乃。と。一。お。授。了。る。び。と。ら。へ。百。日。入。榮。  
難。と。の。と。百。度。祭。文。を。お。能。乃。答。と。す。う。の。千。世。  
万。歳。と。ら。と。と。お。先。乃。神。れ。め。と。い。は。し。と。し。と。  
世。に。先。と。と。と。お。先。つ。ら。れ。思。作。く。も。な。成。あ。  
ま。わ。あ。の。の。神。酒。と。越。ら。申。あ。

天別豊姫大明神託

備後國

益。人。よ。お。先。より。な。せ。ら。わ。さ。成。は。と。あ。比。と。ら。  
た。せ。ら。わ。さ。を。は。わ。ら。く。と。ら。と。成。う。や。ま。い。下。







徳毛大明神託

周防國

おろく成るる人か神明とすいとみく物  
くゆいよくの心を先とて新しき集  
らんまらうあくもおとともせむさ  
なり。神明乃と一いたく並さるる志  
めんが為なり

住吉坐荒御魂大明神託

長門國

家國乃人か家神乃子なり。や乃と一  
一なるくあわねとせとよまらう  
家よあはし。家子よはねとせとよまらう

よたよりあそく  
まてく深みくとりとくなり。わが  
益人

日前大明神託

紀伊國

益人か大虚乃とく。その身大比乃如く。その  
口風乃如く。其のおりひ天比乃とく。すれ  
バ神明乃其乃と社とく。日月乃のをわ  
とす。おろくふはと免あるべく。深とぞおろく

大和國魂大明神託

淡路國

そらん人か其を身になあとい人是と  
とんよゆいよとの神明是と殊すなり



忌部大明神託

阿波國

夜生乃つる小神に侍く。其の心をば  
歩きのまゝとて、軍陣におもむらん。小神は  
一秘るふ。神く歌をよみ、て味方なり  
く。ありはれ。禰尊のく。後とる。是い  
は神。明乃ち。積す。ま。極人がなり。

城山大明神託

讃岐國

そり人がわが神明乃ち。て。成る。一。ま。ひ。く。  
人乃國法をあら。光あ。ね。み。い。よ。ま。と。や。ひ。  
一。わ。り。ゆ。人。よ。今。の。世。よ。人。乃。か。り。あ。り。と。わ。く。

ゆに。其。の。ま。り。あ。り。と。い。ふ。が。も。ん。ね。ゆ。く。  
乃。二。川。を。ま。り。く。人。を。ま。り。ゆ。く。人。の。目。り。  
月。ふ。お。ひ。く。昔。人。を。目。り。月。に。か。れ。ゆ。く。  
一。海。に。い。ふ。く。あ。り。と。い。ふ。法。を。法。に。な。す。と。い。ふ。  
理。を。理。よ。う。ら。神。明。乃。ゆ。人。能。ふ。あ。り。と。い。ふ。  
性。海。に。い。ふ。く。あ。り。と。い。ふ。法。を。法。に。な。す。と。い。ふ。  
立。王。法。を。ま。り。く。武。法。を。武。法。に。決。身。に。り。  
一。さ。り。あ。り。と。い。ふ。法。を。法。に。な。す。と。い。ふ。  
あ。り。な。げ。さ。り。と。い。ふ。法。を。法。に。な。す。と。い。ふ。  
と。是。と。な。げ。さ。り。と。い。ふ。法。を。法。に。な。す。と。い。ふ。



らあその性可しといふもの國のついでに

也乃しまふふなり

大山積大明神託

伊予國

吾神明ハ法の体より天子又ハ大日遍照也

聖跡法法海乃神神ニありて

乃命の妙いと叶まふ法乃人色あふた

もいぢまへり次天比万物皆家神明乃本

とあり

新佐大明神託

土佐國

と人乃いけりあき時より老乃言に

まき一吾成色かたし海を大悪人といふなり

神明といけりなむ人といふ神く是とに

くめりなり人といふ道画といふて悪人といふ

さといふ人といふて天れあき起よといふ

つあつ波わさといふ

新紫大明神託

新紫國

人とするいあききんははわしりよめと

ハ神明といふふか後とく人むらむらに

とくけ人と夫ふんとせりい

葉乃しりあきとあきんあき







田沼大明神託

肥前國

あら人乃中にあまのつたのまらく成すまの  
まきんとまよふまのまき良天なりあまの  
まのまきつたすまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
阿蘇大明神託  
肥後國  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの

江田大明神託

日向國

まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの

康兒嶋大明神託

大隅國

まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの  
まのまのまのまのまのまのまのまの

牧岡大明神託

大隅國



善人の徳を崇めしむ。或は一時の用とするは何  
を以て崇めしむ。指紙耐る用と云ふは指紙の  
なすにあり。或は崇めしむは指紙と云ふは  
乃敢て崇めしむを以て崇めしむ。

倭姫命神託

うもあめ紙貴くつらよほく神のとうや海  
をみおやまもつら崇めたるがしえあ  
め乃志くささくあ。佛法のいふ紙貴りぞ  
けく神紙と崇めし。崇めし人此の事あり  
うもあめ紙貴くつらよほく神のとうや海

ふん

無主大明神託

その國

そろく。日梅の寅ふかたももく申に入給  
ひ。月八面より卯として。終つて一息の  
別とて。もう給りて。世界乃別とて。そ  
ひ給りやうに。益人らして。息の回中なくは  
と。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。  
が。紙に。と。あつて。あつて。あつて。あつて。  
神。明。と。す。く。あ。つ。て。あ。つ。て。あ。つ。て。

和論語大明神託

對馬國







